

モーターボートレース



答 定員適正化計画の目標人数1101人を達成できるよう新規採用を行う。

問 職員減により市民サービス低下を招かないか。

答 サービス低下を招かぬよう多様な人事制度の活用、指定管理者制度の推進など民間能力活用を行う。

ボート会計からの繰出しは

問 ボート会計から病院などに繰出しできなくなった場合はどうなるのか。

答 一般会計では賄えないので、来年度以降は基金を取崩しつつ、事業の見直し、廃止を検討していく。

- その他の質問
- 1 定額給付金
 - 2 県の不正経理

伴 捷文(市政クラブ)

平成21年度予算編成について

問 予算編成に対する基本的な考え方を伺う。

答 市民ニーズに応え地域経済の状況に即した諸施策を推進するため、必要な配分を行っていく。

問 新年度の重点施策は何か。

答 幹線道路整備、金融危機への緊急対策、新消防庁舎建設等を進めていく。

名鉄西尾・蒲郡線の存続を

問 名鉄線の存続をどのように考えているか。また、今後はどのような取組みをしていくのか。

答 名鉄線は地域交通の足として非常に重要であると考えている。

名鉄電車



名鉄には存続を強く訴えてきたが、今後、国や県にも支援を働きかけていく。市民には利用促進の周知を行うなど鋭意努力していく。

柴田安彦(日本共産党)

市民の期待に応える市民病院について

問 医師確保の状況はどのようにか。

答 今年度当初と比べ6人の減となっているが、消化器内科で2名の医師が着任される予定など、医師確保の目的が少しずつ立ってきている。

問 病院改革プランは、厳しい経営状況を受けて修正していくのか。公立の2次病院として維持しているのか。

答 現在の改革プランの目標を変える予定はない。経営形態も当面変更していく考えはない。

問 医師が減少しているが、救急医療の確保はできるのか。現状の2名体制は維持できるのか。

答 今後の中核病院として救急医療を存続していくことは使命だと考えている。当面厳しい状況は続くが救急体制維持のため様々な方策を講じていく。

大場康議(市政クラブ)

ごみ不法投棄の対策は

問 粗大ごみなどの不法投棄が頻発しているが、その対策はどのようなか。

答 県が国定公園内を重点的に監視している。地域住民、警察などの協力を得て無くしていきたい。

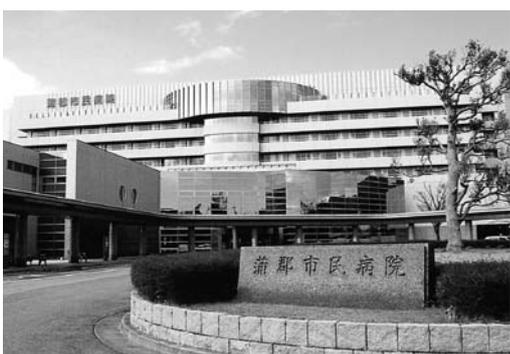
企業用地候補地5カ所について

問 市内5カ所の候補地選定の報告があったが、各地元にはどのように説明していくのか。

答 現在、各地元総代に説明している。今後、各地開発委員会で説明を行い、総合計画の位置付けの事務手続きを進めていきたい。

問 企業用地として使用できるようになるには、どのくらいの期間が必要か。

答 農振除外や開発行為の申請等の手続に1年、開発行為の許可後、用地買収や工事に2年がかかる。



市民病院